

ひがしそのがき 議会だより

第 140 号



赤木原開墾80周年記念式典(中島公園にて)



新年の挨拶	2ページ
12月定例会	
一般質問・東彼杵郡議員研修	3～6ページ
補正・条例改正等	7ページ
議会活動報告	8ページ

新年のご挨拶

る結果となり、町長の期待する成果が出たのか疑問はぬぐえませんが、今後これをきっかけとして、地区の活性化を真剣に話題にしてほしいと願います。

私ども議会においては、住民の声を直接聞きしながら、町の活性化の糸口を探ると共に、より良い議会運営と町民に開かれた議会・親しみのある議会を目指し、昨年6月（駄地・坂本・浦・本町）と11月（瀬戸・本町）に議会報告会を開催し、多くの町民の皆様から叱咤激励をいただきました。

頂戴しましたご意見は真摯に受け止め、議員一致結束し、諸問題に腰を据えて果敢に取り組んでいく覚悟でございます。

特に、町民が安心して快適に楽しく暮らせるように少子高齢化対策、生活環境整備、情報通信基盤の整備などに取り組まなければならないと考えております。

他にも沢山の課題がありますが、今後とも、町当局と互いに協力しあい、町政振興に向けて全力を傾注する覚悟を新たにしているところでございます。

東彼杵町議会は、引き続き「安心して子どもを育てられる町」そして「安心して老を楽しむことができる町」を目指して町づくりに邁進してまいります。

どうか、今年も東彼杵町議会に対しまして格段のご理解とご協力をお願い申し上げ、議会を代表して新年の挨拶といたします。

平成25年 元旦



東彼杵町議会を代表致しまして新年のご挨拶を申し上げます。

新年 あけましておめでとうございます。

輝かしい平成25年の新春を迎え謹んでお喜びを申し上げます。

町民の皆様には、常日頃から町議会に対し深いご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。



議長 森 敏則

昨年暮れに行われました第46回衆議院選挙では、自民党が圧勝し過半数を大きく上回る議席を獲得して政権奪還を果たしました。

3年前の民主党の大勝から「振り子」と称されるように真逆の結果となり、ある意味小選挙区の怖さを表したものとなりました。

さて本町においては今年、最も話題にしていきたい事があります。

それは、昨今の著しい子どもの減少に伴い、児童がより良い教育環境の中で効率的な教育が受けられるよう、町議会の特別委員会においても調査研究をしましてまいりました学校規模適正化に係ることであります。

この件につきましては、教育委員会から昨年11月町内の小学校・中学校の保護者を対象に説明会が開催され、中学校1校、小学校2校へ統合（案）する基本方針が出されたところであります。

特に、統合と言えばデリケートな問題でありますので、大人のものさしよりも、子どもたちの視点で話し合いをしてほしいと思います。

加えて、平成24年度の町長の肝いり施策として、各地区が「自ら考え・自ら実行」する活性化施策を支援する「まちづくり支援交付金制度」が創設されましたが、地区公民館の施設整備などが大方を占め

ていないのか。【教育長】本年度より英・国・数の主要科目の授業時間が増え、総合的学習の時間が大幅に短縮されたため中断された。今後の復活は難しい。

一般質問

十二月議会で七人が町政全般について質問しました
(本稿は質問者の責任で作成しています)



橋村 孝彦 議員

町民の政策提言に対する予算措置の可能性は

【議員】今年二回、議会報告会を開催しました。その中で町民の皆様からこれはまさしく政策提言だと言える貴重な意見をお聞きする事が出来ました。

この方々は現状を認識し問題意識をお持ちと推察致します。町民の中には様々な経歴や学識を有する方が多いのは町の財産と言えます。町民の意見、見識を町政に反映させる為、広く町民に政策提言を公募し有

益な提言に予算投入し事業化の可能性は。

【町長】耳を傾け対話する事が基本と考える。公募し採用されたら自分に自信が付き、又採用されなくても町作りに参加した意義があり次回につながる。是非、実現したい。

【議員】提言を受ける場合、投書箱等は批判や誹謗中傷の道具に使われる恐れがある。氏名の明記を原則とされたい。

【議員】先般、六十名の方のヒアリングを終えたとの事だが初耳である。町民は子どもから高齢者まで様々な人で構成されている。特定の人だけの意見を聞くと言う手法は如何なものか。

【町長】総合計画については本町の課題と現状を知ると言う観点から、と



吉永 秀俊 議員

まちづくり支援交付金の現状と今後の取り組みは

【議員】現在、どの地区からどのような事業申請があっているのか。

【町長】二十一地区から申請があっている。公民館の空調設備・改修・放送設備・椅子と机の購入などが十五地区で鎮守の森の整備が二ヶ所などである。

千七百万円の交付金のうち五一%が現在使われている。【議員】責任ある区長・

りあえず地区から六十名を選考して行った。【議員】課題や現状認識は特定の人のみがあるという問題ではない。【町長】今後、公募形式

郷役員さんに見れば、この交付金を「町づくりに使え」と言われても、色々悩み協議された後、このような施設の改修・修理・備品の整備に利用されることは予想できたのでは。【町長】当然予想できたことである。

【議員】三月議会ではまちづくり交付金は「何にでも使って良い」と言う議案説明のもと可決承認されたが、七月の区長会で交付金の使用を制限する対象外事業・交付申請期限などが議会には何の説明もなく発表されたが、この法律的な位置づけは。

【町長】まちづくり交付金要綱の具体的説明をしたものである。【議員】交付対象事業の申請が十二月二十日まで間に合わなかった地区の交付金はどうなるのか。

【町長】状況を見て臨機応変に対応したいと思っている。【議員】来年度も今年度と同じような内容や方法でこの交付金制度を継続される予定なのか。

【町長】手あげ方式でやりたい。対象も各地区の

千綿人形浄瑠璃並びに坂本浮立の現状と保存対策は

【議員】坂本浮立と千綿人形浄瑠璃は県指定の民俗文化財であり、町の宝として、地域と共に、町を挙げての継承・保存対策を検討すべきでは。また補助金はどうなっているのか。

【町長】保存会や地域の方の考えを聞いて対応したい。特に人形浄瑠璃は今、手を打たないと遅いと思う。坂本浮立には毎年十萬円の補助金が、千綿人形浄瑠璃はここ数年申請がない。

【議員】千綿中学校で生徒や保護者・地域の人々に感動を与えてきた人形浄瑠璃の復活は検討され

ていないのか。【教育長】本年度より英・国・数の主要科目の授業時間が増え、総合的学習の時間が大幅に短縮されたため中断された。今後の復活は難しい。



坂本浮立



千綿人形浄瑠璃

県指定無形文化財

【町長】下水道は必要なもの、町民の皆様には多めに利用して貰いたい。平成二十五年度以降の事業計画は今議会最終

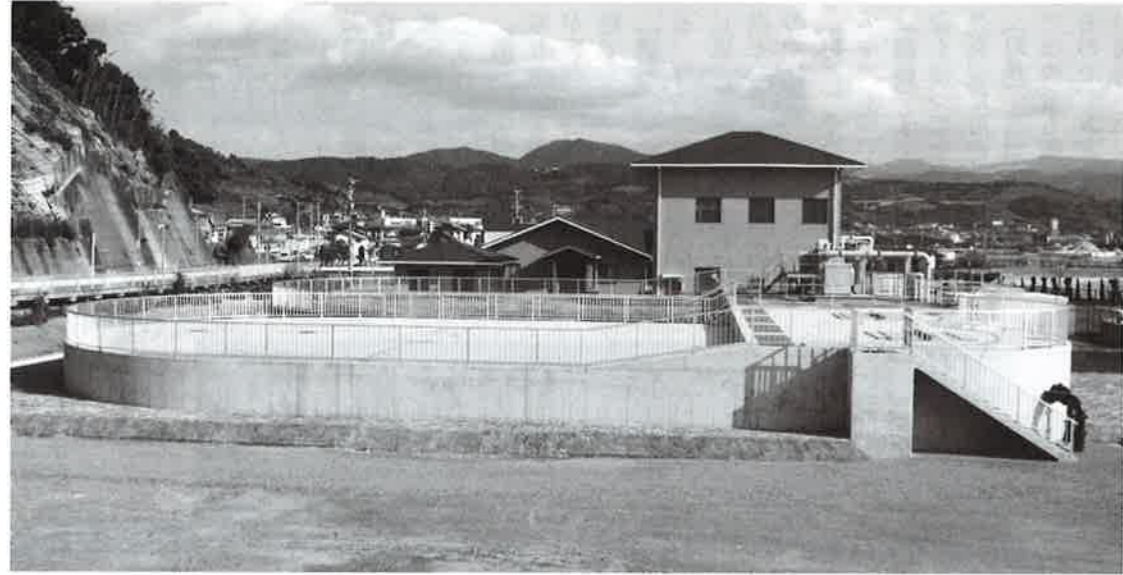
① 下水道事業の範囲
② 下水道の形態
③ 地区別事業年度
（公共・浄化槽等）

下水道事業計画は

佐藤 隆善 議員



【議員】下水道事業は当初計画より五年遅れの平成三十四年度完了とされていますが、第三期認可区域（千綿宿郷・八反田郷）や、千綿川の左岸地区の年度別計画を提示し関係町民の理解を深める事が事業の推進に繋がると考えます。事業内容については、平成二十一年十二月に議会の特別委員会より報告書が提出されたり、地形的な問題もありますので次の事について質問します。



公共下水道処理施設（終末処理場）

【町長】下水道は必要なもの、町民の皆様には多めに利用して貰いたい。平成二十五年度以降の事業計画は今議会最終

【議員】下水道事業は当初計画より五年遅れの平成三十四年度完了とされていますが、第三期認可区域（千綿宿郷・八反田郷）や、千綿川の左岸地区の年度別計画を提示し関係町民の理解を深める事が事業の推進に繋がると考えます。事業内容については、平成二十一年十二月に議会の特別委員会より報告書が提出されたり、地形的な問題もありますので次の事について質問します。

防災のための自主避難への対応は

岡田伊一郎 議員



【議員】台風接近時等の避難で、町が把握されている自主避難者の現状と対応はどのように行われたか。また、各地区への避難時の非常食と毛布などの準備はどうなっているのか。今後の計画として炊き出しの訓練などの取り組みは。

【町長】今年九月に接近した台風時の役場での待機はどうなっていたか。【総務課長】役場職員は総務課二名、建設課二名消防は待機でした。【議員】その時に総合会館に避難された方が、役場から連絡があつていないという事で避難できずに蔵本の改善センターに避難されました。町でいちばんの避難施設が自主避難で利用できなかったことについては。【町長】第一次避難施設ということで総合会館を当てていますので、開けて避難していただくのが当然のことと思っております。大変ご迷惑をおかけしました。

【議員】町長は被害の拡大を防ぐには自主的に避難していただくのがいちばんと発言されています。住民の方も危険だと判断されて避難されているわけですから、職員が出向いてでも対応すべきと思うが。【町長】十一月十一日に

災害時の避難経路は

【議員】地区においては救助や消火のため、消防車や救急車が侵入したときの迂回路として、河川管理道路を舗装して利用はできないか。【町長】河川法により舗装はできない。利用となると安全上、防護柵が必要であり、小音琴、大音琴、口木田、千綿川など多数で膨大な予算が必要である。しかし、やらなければならぬ所もあると思うので検討していきたい。

浪瀬 真吾 議員



町道の整備計画は

【議員】大野原高線の大楠小下から広域農道の起点付近まで、また、法音寺郷谷口地区から国道三四号に抜ける道路の現在の進捗は。

【町長】概略のルートの選定を行っている。どちらも継続事業ではないので要望はしている。二十五年新規事業になるのではないかと思っている。三案のルートと比較検討して費用対効果の面で何処がいいのか検討をしている。間もなく地域に入っている。間もなく地域に入っている。間もなく地域に入っている。

フェイスブックの活用は

【議員】携帯電話・スマートフォン等の普及によりフェイスブックでのアクセス件数が増加しており、風水害等緊急時の対応や、より広く若い人のアイデア

【議員】高齡化の中で総延長に二二五・七kmに及ぶ町道の路肩草刈り作業の軽減を図るため、町で直接施工するか、或いは、生コンなど原材料支給で地域の協力により路肩を一〜二m舗装することはできないか。【町長】基本的には、進めたくない。利便性でやって来たことであり、住民には良いが舗装をしてしまえば管理を難しくなることが予想される。高齡化で出来ない様な危険な箇所は優先的にする。極力皆さん方に協力をしてほしい。

来年度予算編成は

【議員】厳しい財政状況のなかで来年度の施策重点項目としてどういった事を考えておられるか。【町長】予算については、まだ固まっていないが働く場所の確保が一番大事である。交流人口、定住促進をしながら、人口増が出来ると思う。空家や町有財産を活用する。道の駅の拡張も考えなければならぬ。広域農道の活性化も必要重要事項。総務省事業の地域おこし協力隊制度を活用したい。農業関係の振興策を図って行きたい。

樋口庄次郎 議員



広域農道を活かした町づくりと国道三四号への取り付けを早急にする

【議員】十二年間という長い年をかけて総延長一八九五m、総事業費一七億の経費をかけられて十月十日に開通式の式典が行われました。今や多くの車両が野岳道入口から、町内においては平似田線、八反田線、千綿宿線、赤木本線、大野原高線まで交通量が多くなると考えられる。農産物の直営店は。

【町長】何か活用しなければならぬかと思っっている。町としての計画はないが、どなたかやる方があればお手伝いはする。まずは試験的に行った方が無難と思う。【議員】農道を利用したイベント、駅伝大会など



二ノ瀬橋から大楠小学校へ

【町長】収穫体験、体験農業など模索出来ればと思う。駅伝大会は事前に分ければ利用可能と思う。【教育次長】五月頃から考えていたが、凍結などの問題があり、一年間様子を見ようと考えた。その中で川棚警察署とも事前に協議したが交通量の問題、交差点の問題で交通整理等の管理が難しい点もあるとの事である。【議員】国道三四号の取り付けはどう考えられるのか。【町長】今から概略設計を行い今年度末には各地区で説明を行う。二十五年は実施設計を作る。【議員】二ノ瀬橋から大楠小学校下までの町道改修は。

町民の声投書箱の設置を

【議員】町長の町づくりの基本的な考え方は各自治体の活性化を目指した施策であろうと思っております。自治会の活性化とともに町全体の活性化を図る上で町民の声（小、中、高生を含む）を行政側に届ける目的としての設置の考えは。【町長】設置は良いと思う。しかし、何年も前から役場内にあるが利用されていないのが現状であり、町のホームページに意見箱、投書箱があるのでこちらにアクセスして欲しい。【教育長】教育関係では歴史民俗資料館、図書室に設置している。町の活性化や各自治会の活性化の意見はなかった。基本的に各区分長さんや各団体の長を通じて行政側に伝えて頂いた方が大事ではないか。

一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ68,415千円を追加し、総額を4,674,198千円とするもの。

歳出の主なもの

土木費に町道主要幹線区画線設置工事費及び大野原高原線道路改良費など32,871千円、民生費に保育所運営費及び障害介護給付費委託料など16,348千円、総務費に高度情報通信基盤整備事業補助金など5,167千円

国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出の総額にそれぞれ53,101千円を追加し、総額を1,202,300千円とするもの。

歳出の保険給付費は、一般被保険者療養給付費、退職被保険者医療給付費、一般被保険者療養費、退職被保険者等療養費、一般被保険者高額療養費、退職被保険者等高額療養費で11月までの支払い実績により大幅な不足が見込まれるため40,681千円を追加した。又、諸支出金は軽減税額遡及（そきゅう）改正による一般被保険者保険税還付金及び退職被保険者等保険税還付金と国保療養給付費負担金等前年度精算に伴う還元額が見込まれ12,295千円追加した。

公共下水事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ44,072千円を減額し、総額を346,608千円とするもの。

歳出については、一般管理費2,147千円を追加、国庫負担金の内示額により工事請負費35,589千円、補償補填及び賠償金9,100千円をそれぞれ減額した。

条例改正

- 職員等の旅費に関する条例等の一部を改正
- 参考人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
- 嘱託職員に関する条例の一部を改正
- 税条例の一部を改正
- 国民健康保険税条例の一部を改正
- 集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正
- 公共下水道処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正

条例廃止

- 龍頭泉森林施設等管理棟設置条例を廃止する条例
老朽化した龍頭泉山の家を解体したため、本条例を廃止するもの



福田 修 議員

町有財産等を利用しての自然エネルギーへの取り組みと推進は

【議員】地球環境問題など良好な地球環境を引き継ぐことは、我々世代の責務であり、又、地方公共団体としても国の施策に準じ地域性に応じた施策を策定する責務があり、東日本震災以降エネルギー施策に大きな転換を促されました。新たな方向性の確立と取り組みが必要と考えますが。

【町長】まず初めに、東彼杵町に初のメガソーラーが設置されることを歓迎している。

一、各公共施設の屋根を使った屋根貸しによる、太陽光発電を検討している。

一、河川が多くあるので小水力発電を設置し自

然エネルギーに対する認識を深めてもらいたい。

一、捨て切り間伐材による活用で薪ストーブを図書室に置くようにした。

持続可能な社会の構築に向かっている。

【議員】避難場所となっている教育センターに太陽光発電の設置が急務と思うが。

【町長】屋根貸しも含め、取り付け可能か調査するが町費で出来るか検討課題である。

【議員】国の支援策もある、避難地域への指定地に成っているのであれば、県との資金交渉も出来るのでは。

【町長】その様な考え方でお願いをしていく。

【議員】まちづくり交付金を使って公民館に太陽光発電は可能か。

【町長】太陽光発電に限っては資金も掛ることであるので、みどりの基金での補助が出来れば、積極的に推進したい。ただし年次計画を立てる。

【議員】エコの町づくり

【町長】再生可能なエネ



太陽光発電設置例

ルギー資源をフルに活用できる取り組みをしていく

東彼杵郡町村議会議員研修会

郡内3町の議員と事務局を合わせ45名が出席し、高校駅伝でも県内初の全国優勝を成し遂げられるなど、指導者としても輝かしい実績をあげられている諫早高校陸上部監督の松元利弘氏より「個性を伸ばす」という講演を受けました。その後、広域農道と長崎県農林技術開発センター茶業研究室を視察しました。



東彼杵町総合会館



長崎県農林技術開発センター茶業研究室

議会活動報告

総務文教厚生常任委員会

三世代同居支援補助制度（福岡県上毛町）

三世代同居支援については、23年度から少子化対策の一つとして、親、子、孫が同居する世帯を支援することにより、定住化の促進を図ることを目的とし、学校給食費1/2助成、家庭内保育で保育所等に通所していない0歳～6歳までがいる世帯へ児童一人につき月額7,000円の助成が行われている。



武雄市役所

空き家対策について（武雄市）

空き家等の適正管理に関する条例の制定にあたり、隣接する4市4町で勉強会を立ち上げ、周辺自治体で広域的に取り組むことで、啓発などの相乗効果が生じることや各市町の担当部局が違うため、専門的な意見を聞くことができ、知恵を出し合うことで地域にあった実効性のあるより良い条例ができる。

フェイスブックの活用について（武雄市）

フェイスブックは実名制で誹謗中傷などは一切なく、誰でも見ることができる。採用になった経緯はコミュニケーションの活性化（お褒め、苦情、意見、提案）、情報提供の機動力を高める（誰でもできる）、市民等からのコメントへの即時対応など市民生活向上と業務の効率化が図られる。

産業建設常任委員会



総合会館

農業委員会との意見交換会

○家畜を活用した対策の現状と将来性について

現在154.3haある耕作放棄地10か所余りを調査し、家畜による耕作放棄地の解消が調査研究されており、平成25年4月頃より駄地1.6ha・木場0.5ha・蕪0.8haに3～5頭の牛放牧の予定であるとのことであった。

○有害鳥獣対策について

現在まで、総延長234kmのワイヤーメッシュ包囲、今年度58km延長し、イノシシ対策が行われている、作物被害は減少しつつも、未だ被害は甚大である。その中において猟友会にお願いし、イノシシ駆除実行部隊が計画されている。